

GK型リーダーシップによる チームメンバーの創造性への影響

シエ シン

昨今は、企業にとり消費者ニーズの多様化、日進月歩の技術革新、競争相手の増加など、取り巻く環境変化は激しく、企業が競争優位を築くためには絶えずイノベーションを起こし続けることが必要とされる。イノベーションを起こすための企画の多くは、チーム単位で実施されており、チームメンバーの創造性と深く関連する。チームメンバーの創造性に影響を与えるものには、個人要因と環境要因があるが、環境要因の影響のほうがより顕著である。リーダーシップは、その環境要因の一つであり、メンバーの職務態度、行動、成果に重要な影響を及ぼすだけでなく、チームプロセスにも重要な影響を及ぼす要因である。そこで、本研究は、組織や企業の境界を越え、その内部と外部を情報面からつなぎ合わせるGK型リーダーシップに着目した。なぜなら、創造性向上のために、内部及び外部の情報をうまく取り込むことが重要であることが分かっているからである。

GK型リーダーシップ、情報共有、情報交換、情報精緻、創造的自己効力感、リフレクションについての先行研究を調査し、仮説を構築した。第1の仮説は、GK型リーダーシップと情報共有、情報交換、情報精緻との関係、第2は、情報共有、情報交換、情報精緻と創造的自己効力感との関係、第3は、情報共有、情報交換、情報精緻とリフレクションとの関係である。

質問紙調査で得られたデータを分析した結果、以下のことが明らかになった。GK型リーダーシップがチームメンバー間の情報共有、情報交換、情報精緻に正の影響を及ぼすことに加え、情報精緻はチームメンバーの創造的自己効力感に正の影響を及ぼし、情報共有、情報交換、情報精緻はリフレクションに正の影響を及ぼすということが分かった。その一方で、年齢、性別、勤続年数、学歴、GK型リーダーシップは、チームメンバーの創造的自己効力感とリフレクションには有意な影響を及ぼさないということも分かった。

本研究は、チーム活動におけるGK型リーダーシップの影響プロセスとして、メンバー間の情報共有、情報交換、情報精緻の頻度を高めるという一つの解釈を提供し、また、情報処理パラダイムに基づき、創造性を高めるメカニズムを明らかにした。

企業において、チームメンバーの創造性を高めたい時、GK型リーダーシップによる情報共有、情報交換、情報精緻の重要性を明確にしたことは、実務的貢献といえるであろう。なお、論文の最後で、研究の限界と今後の展望についての議論を行った。